

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に向けて水とみどりを
守り育てていく取り組みを推進する決議について

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に向けて水とみどりを守り
育てていく取り組みを推進することについて、別紙のとおり決議を行うもの
とする。

平成 29 年 6 月 28 日提出

提出者	秦野市議会議員	横 山	むらさき
賛成者	同	今 井	実
同	同	大 野	祐 司
同	同	横 溝	泰 世
同	同	谷	和 雄
同	同	露 木	順 三

提案理由

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会を絶好の機会ととらえ、「水
とみどりを守り育てていくことの宣言に関する決議」をさらに前進させ、市民
の誇りである水とみどりを守り育てていく取り組みについて、一層推進する
ことを求めるため、決議するものであります。

東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けて

水とみどりを守り育てていく取り組みを推進する決議

本市には、全国に誇ることができるすばらしい資源があります。それは、昨年、守り育てていく宣言を決議したことで記憶に新しい「水とみどり」です。しかし、このかけがえのない自然環境は、時代時代で、先人が懸命に守り育ててきた歴史の上にあります。その証が、今、大きな恵みとなり、私たちは享受しています。そして、その恩恵を持続的なものとし、次の世代に引き継いでいく使命があります。

平成32年度、新東名高速道路の開通により、交通の利便性が向上すると引き換えに、自然環境に少なからず影響を与えてしまうと考えられます。私たちは、樹木を伐採するなどして失ってしまった自然を先人に倣い復活させなくてはなりません。

さらに、同年には、我が国でオリンピック・パラリンピック大会が開催されます。本市のこうした取り組みを全国へ、そして世界へ発信していく、またとない好機でもあります。そしてそれは、オリンピック憲章にもうたわれているレガシー、すなわち有形無形の社会的遺産を後世に残すことにほかなりません。

よって、本市議会は、「水とみどりを守り育てていくことの宣言に関する決議」をさらに前進させるため、本市が長期的な視点に立つとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック大会を絶好の機会ととらえ、民間でも機運が高まりつつある植樹活動と連携を図るなど、市民の誇りである水とみどりを守り育てていく取り組みについて、一層推進することを求めるものであります。

以上、決議します。

平成29年6月28日

秦野市議会